

高いお土産と思ったら

佐藤俊哉(京都大学医療統計)

2011 年 9 月 4 日(日) 台風 12 号は去ったのに

数日前から台風 12 号が猛威を振るい、京都はなんてことなかったものの紀伊半島ではすごいことになっていた。四の五のいっても博多にはいかなければならないので、京都 13 時 52 分発ののぞみを予約し家を出る。

ところが京都駅に着くと、静岡県が大雨で新幹線はぼろぼろに遅れていた。こういうときは焦るよね。とりあえず来た新幹線に乗って新大阪まで行こうかとも思ったが、冷静に状況を分析してみると、いま来つつある列車は 1 時間くらい遅れているものの、予約した 13 時 52 分は 35 分の遅れ、と表示されている。新大阪まで行ったところで始発ののぞみはなくせいぜいひかりレールスターがあるだけなので、ここはぐっと我慢して焦らずに待合室で待ち博多に行くことにする。

結局のぞみは 40 分くらい遅れて到着し、まあそのまま博多に着くのであるが、そんなに混んではいなかったのパソコンで仕事をしながら博多着。駅からすぐの、東急ホテルビズフォート博多にチェックイン。台風は行ったはずなのにどんよりと曇っている。このホテルは東急とはいっても、完全にビジネススタイルでチェックイン・チェックアウトは機械で行う形式。部屋ではちょっと LAN を探すといういつもの儀式の後、パソコンを接続し到着のメールを送る。

夕食は簡単に済ませ、明日は早いので 12 時くらいに寝る。

9 月 5 日(月) 続台風は去ったのに

6時半に目が覚めた後なかなか寝られず、7時直前に起きる。支度して、レストランというか朝食だけのラウンジに食事に。朝食は「なんちゃってバイキング」で、スープ 2 種、サラダ、パン、ジュース 2 種、コーヒーで和食はなし。ソーセージポトフ、サラダ、ミニクロワッサン、オレンジジュース、コーヒーと結局いつもより食べてしまうのはなぜだ。部屋に戻って一息入れた後、博多駅でバスを待つ。連合大会の会場となる九州大学伊都キャンパスまではバスで 1 時間もかかるのでたいへんである。台風は去ったはずなのにまだ雨が降っている。

8 時 34 分のバスに乗り、ほんとうに会場まで 1 時間かかって到着。バスでは ICOCA が使えると思っていたら SUICA だけだった。途中、天神に泊まると関係者らしき方たちが乗ってくるものの、結構混んでいて、かわいそうに会場まで立ちっぱなしの方も。さて、会場付近に到着したはいいいものの、例によって地図も持たずに来たため、バス停からどう行ったらいいのかわからず、しばし途方にくれてしまう。遠くの方にそれらしい人影がみえたのでそっちの方に行ってみると当たりだった。だいたいバス停付近には『会場はこっち』という張り紙くらいあつてしかるべきだ、とあとで運営委員の北大 大庭先生に文句をいったのだが、「あれ、学生さ

んいませんでしたか」とのこと。受け付けはこれまた混雑していて、医療統計の寒水先生が整理係りをしている。寒水先生曰く、ずいぶん頼んだのに会場を開けるのが遅くなり混雑してしまったとのこと。

今朝は 10 時から計量生物学会のシンポジウムでテーマは非劣性試験。会場はほぼ満員。トップは医薬品医療機器総合機構の安藤さんで、なつやしや NS 同等だの脳循環改善薬だのの話がでてきて感慨深いものがある。次は京大探索医療センターの田中先生ががん非劣性試験のメタアナリシス、中外の浅川さんが中外のがん非劣性試験の実例、最後は機構飛田さんの試験薬・実対照薬・プラセボの試験の話。浅川さん以外は持ち時間を目いっぱい使ってとても討論どころではなく、みなさんもっと討論の時間を残しましょう。

お昼はいよいよ来年に迫った、**計量生物学会の会員は全員参加が義務付けられている**という IBC2012 の、Local Organizing Committee があるので別室に急ぐ。いかんもう始まっている、お弁当をささっと食べ、総務委員会の報告をする。IBC のホームページの整備を早くしないといけないのでたいへんである。この会議がまた延びて、次は計量生物学会奨励賞受賞講演なので急いで会場に移動。

今年の奨励賞は学会賞受賞者大橋先生のお弟子さん、東大・竹内先生と横浜市大・田栗先生で、ふたりともなかなか堂々とした発表でした。お客さんもけっこう入って、午前午後と計量生物の企画セッションは大繁盛、IBC2012 もこうあってほしいものである。ふたりとも丹後先生から「真値ってなんですか」と突っ込まれていたが、時間通り 2 時 20 分に終了。今日はこれで帰ろうとしていると 3 月に医療統計の MPH を修了し今は持田にお世話になっている飯島くんがあいさつに来た。持ち味を活かして活躍してほしいものである。

帰りもまたバスで博多まで。午後になってようやく晴れてきた。今晚は大庭先生がようやく学位を取ったので、そのお祝いに一緒に食事する予定。7 時少し前にロビーで大庭先生、田中先生、竹内先生と合流し、ホテルのそばの〔小谷〕に向かう。月曜なのにすでにカウンターにふたり、小上がりに 4 人と、大庭ご一行様がカウンターに陣取ると満席で、BS ネットワークの後に来たときに予約しておいてよかった。まずはビール、なのだが、田中・竹内先生は酵素がないのでお茶、大庭先生とふたり学位取得の乾杯をする。

いろいろでてきたが連合大会とは関係ないので以下省略。

小谷の料理に満足し、12 時過ぎに寝る。

9 月 6 日(火) ようやくいい天気

8 時 15 分に目が覚め、食事に。今朝はサラダ、ミートボールと野菜のスープ、アップジュース、コーヒーと軽めに済ませ、少しゆっくりと 10 時 19 分のバスで会場に行く。

またまた 1 時間かかって会場に着き、計量生物理事会の部屋に行くと、浜田先生と松山先生がいた。お弁当が届いたので先に食べ始める。弁当は昨日とおなじお店だったが、内容が少し変わっていた。12 時から理事会をはじめ、いいペースで進んでいたのであるが、やっぱり終わったのは 13 時過ぎ。明日、9 時半から入試委員会があるのでもう帰らないといけ

ないのであるが、13時12分発のバスにはもう間に合わないので、次のセッションをちょびっとだけ聞いて13時42分のバスで京都に帰ることに。阪大の学生さん(あとで聞いたら循環器病研究センターの朝倉先生の奥さんとのこと)が寒水先生たちと共著での発表であったが、珍しく菅波さんが鋭い質問をしていて、『そうだよなバウンダリーも相関を考慮して設定しないといけないよな』と思ったが、あとから寒水先生にそうではないと諭されてしまった。

なにはともあれ途中退出して帰る。会う人会う人に「明日の朝会議なもんで」と言わなくてもいい言い訳をしながら42分のバスに乗り、約束通り1時間かかって博多着。新幹線の時間を調べると次は15時、その次は15時30分なので、15時をエクスプレス予約し20分で急いでお土産を買うことに。家には松翁軒のチョコレートと決まっているので問題なく、大学へのお土産を探すのみ。しかし『博多通りもん』では芸がないし誰かが買ってきそうだなあ、とあれこれ迷っているうちにシルシルミシルで紹介された、というお土産があったのでそれを買って時計をみると…、14時58分。急いで予約の変更をするものの、あせってしまって操作がうまくできず「変更」ボタンを押したときには「もう変更できません」。ずっがーん、である。なんと高いお土産になってしまったことか。

泣く泣く15時半発に予約しなおし、いまさらであるが20分以上も前に駅に入る。それにしても予約した新幹線が行っちゃっても、せめて乗車券分はなんとかしてほしいものである。しばらく落ち込むが、いたしかたないのであきらめる。のぞみは定時に出発し、本を読んだり少し仕事をしているうちに6時14分に京都着。やれやれ。

後日談

医療統計院生の高田くんから「遅れてもそのままエクスプレスで入場すれば行ってしまった予約券が出てくるので、自由席には乗車できる」と言われ、ますます落ち込む。

エクスプレス予約の9月分の利用明細が来たので恐る恐るみると、博多ー京都の2回分の請求の後、乗車券分がマイナスとなっていて払い戻されており、ひとりで小さくバンザイ。